

キャラクター名
朝日 凶夜 (アサヒ キョウヤ)

プレイヤー名

シンドローム	バロール ウロボロス		ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	ベテランヒーロー
	オプショナル		年齢	見た目15歳	性別	男
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	55	%
出自	最後の希望	経験	喪失	邂逅	天敵	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	1		0			1	行動値	9
感覚	2		0			2	(非装備時)	9
精神	4	1	0			5	戦闘移動	24
社会	1		0			1	全力移動	48

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	7		射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:ヒーロー	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ヒーローズナックル	白兵	5r+7	2	4		
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:ヒーローズマニア	
ヒーローズクロス	
カジュアル	
携帯電話	
オーヴァード猫足	
デモンズシード	
パワソース:デーモン	
オーヴァード空手	
エキスプローラーブーツ	
怨念の呪石	
写真:ルー	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス:継承種	P	N		
好きになってしまった人:ルア	P	純愛	N	憎悪
義娘:朝日ノノ(WH)	P	慈愛	N	恥辱
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: Cr値-Lv								
無形の影	1	4	メジャー	-	-	-	-	
効果: あらゆる判定を[精神]で行える。1ラウンド1回								
斥力跳躍	1	1	マイナー	至近	自身	自動成功	-	
効果: 移動量+[Lv×2]で戦闘移動								
背徳の理	3	3	オート	至近	自身	自動成功	-	
効果: 1点でもダメージ与えたらシーン中ダイス+[Lv×2]個								
マイトフォーサムワン	1	1D10	イニシアチブ	至近	自身	自動成功	-	
効果: 即座にメインプロセスを行える。1シナリオ1回。								
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動成功	RB	
効果: 衝動判定のダイスを+Lv個。浸食率基本値を+5								
オリジン:レジェンド	5	2	マイナー	至近	自身	自動成功	RB	
効果: [精神]を使用した判定の達成値を+[Lv×2]								
極限暴走	1	-	常時	至近	自身	自動成功	リミット	
効果: 1点でもダメージ与えたらが前提のエフェクトを暴走した時でも使えるようにする。基礎浸食率+3								
破壊の渦動	1	5	オート	至近	自身	自動成功	-	
効果: 1点でもダメージ与えたらシーン中装甲無視。1シナリオLV回								
原初の紫:復讐の刃	3	7	オート	至近	単体	対決	-	
効果: リアクション放棄で白兵で反撃。C値-Lv								
魔王の外套	3	5	マイナー	至近	自身	自動成功	120% 解放	
効果: シーン中、あなたが受けるダメージを常に-[Lv×5+5]。BS:暴走を受ける								
拒絶領域	4	-	常時	至近	自身	自動成功	-	
効果: 暴走中、あなたが受けるダメージを常に-[Lv×5]。基礎浸食率+5								
時間凍結	1	5	イニシアチブ	至近	自身	自動成功	80%	
効果: 即座にメインプロセスを行う。HP20消費。1シナリオ1回								

【設定】
 ヒーローに憧れた一人の少女がいた。少女はとても病弱でいつも独りだった。ヒーローになるなんて夢のまた夢だった。少女は物語に願いを込めた。自分がヒーローになって世界を救う物語を書いた。少女の両親が死んだ。ヒーローが間に合わずヴィランに殺されたらしい。少女は気づいた。ただの正義の味方じゃダメだ。それじゃあ、弱すぎる。少女は夢想した。どんな事件にも間に合う正義の味方を。そして、こんな自分みたいな病弱で独りな子にも笑いかけてくれる優しい人を。そして言うんだ「こんにちは」と夢想するだけだった。夢の産物だった。だが、少女は満たされた。物語を書いていくにつれ、少女はヴィランとヒーローの行いが似ていることに気づいた。少女は筆を持った。世界を助ける英雄ではなく、自分の隣に・・・孤独な人の隣に寄り添い、助けてくれる悪を名乗る正義の味方・・・魔王の物語を正義とは弱く儂いものである。それらを守る異端なる悪こそが正義の味方。でもただの正義の味方じゃダメだ。悪の頂点魔王でなければ。少女は物語をネットに流した。ただの自己満足。人の評価など気にしなかった。次の物語を書こうとした少女の病室がヴィランに襲われた。振り下ろされる凶爪。ヒーローは・・・間に合わない全てを諦めた少女の目に入ったのはヴィランではなく、ばらまかれた机から出てきた一枚の絵。ずっと夢見てきた魔王の絵。彼女は願った。「助けて・・・私の魔王様(ヒーロー)！」痛みを待つかのように目を閉じる少女・・・しかし痛みは一向に訪れることはなく、目を開けると少女にトドメを刺そうとした化け物は黒い球体にのみれ消え、代わりに一人の少年が立っていた。少女はその少年を見て言った「こんにちは。滅独魔王・・・朝日凶夜」少女に作られ、少女の物語を見たものの願いが集まった結果レネゲイドビーイングとして生まれた正義の味方。孤独ではなくなった人からは必要とされない。前を向いたら必要とされない悲しい魔王。魔王は少女にこう返した。「こんにちは。もう大丈夫・・・僕に任せて」

